

令和6年度「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」 開催校園の紹介

「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」は、「しまねっ子！元気アップソング&ダンス」や、柔軟運動、また短縄、長縄やボール等を使った「しまねっ子！元気アップ・プログラム」の15種目の中から好きな数種目を選択して異学年・同学年の友だちと一緒に仲良く楽しんで運動する集会活動です。15種類の運動種目には、島根県の地名にちなんだ名前が付けられています。

以下はこの集会活動を開催した小学校及び幼稚園の紹介です。友だちと声をかけ合う姿、助け合いながら記録の向上を目指す姿、運動することに夢中になって楽しんでいる姿など、さまざまな子どもたちの姿が見られます。

なお、カーニバル開催校には株式会社ローソンの協力により運動用具等が贈られました。

◆第26回◆ 松江市立大野小学校 全校児童 23名

開催日：2月19日（水）

「なわとび集会」に合わせて開催しました。3年生以上が委員会に所属しており、分担して司会進行しながら、全校で取り組みました。2分間の持久跳びの後、2チームに分かれて『松江城 忍者8の字跳び』と『高津川清流ながなわジャンプ』にチャレンジしました。年間を通して、週2回の業間全校運動の時間を設けているため、これまで長縄の種目を練習してきた子どもたち。上級生が作戦タイムで積極的にアイデアを伝えたり練習タイムで励ましたりしながら、チームワークよく取り組む姿が見られました。どちらのチームも最高記録を出すことができ、満足そうな表情の子どもたちでした。

みんなで運動する楽しさや、できる喜びを存分に味わえた、元気アップ・カーニバルとなりました。



◆第25回◆ 吉賀町立柿木小学校 全校児童 54名

開催日：2月10日（月）

『ドジョウすくい柔軟運動』では、『しまねっ子！元気アップ・プログラム』を基に、レベルを明確に示して練習に取り組んだことで、意欲を保ち継続的に運動することができました。短縄跳び種目では、持久跳び（各学年で設定時間を決める）と『蟠竜湖連続2重跳び』1分間チャレンジに取り組みました。実態に応じて個別で取組方法を広く認めたことで、挑戦できたことを肯定的に感じた子どもたちが多く見られました。また、長縄跳び種目では『松江城！忍者8の字とび』を行い、今年度から勝敗ではなく目標回数にチャレンジするように設定したことで、各学年（2学年で編成）の目標達成を応援する雰囲気生まれました。毎年継続と、方法の改善のサイクルを回すことで、子どもたちの運動に対する肯定的な感情が確実に育っている様子が伺えました。



◆第24回◆ 松江市立竹矢小学校 全校児童 305名
開催日：2月4日（火）

「全校縄跳び大会」として、『松江城 忍者8の字跳び』を中心に取り組みました。4色の色別グループで学年ごとに1分間チャレンジし、合計回数を競う大会でした。挑戦している学年に向けて、他学年から明るい応援の声や歓声が飛び交い、終始にぎやかな雰囲気の大大会でした。学年が上がるにしたがって、回す縄のスピードが速かったり隙間なく跳んだりすることができており、下級生からは「すごい！」と驚きや憧れの声が聞かれました。最後に、高学年による短縄模範演技も披露されました。3重跳びなどの高度な技に、会場は大盛り上がりでした。達成と目標づくりを楽しい雰囲気の中で味わうことができた時間でした。



◆第23回◆ 雲南市立海潮小学校 全校児童 52名
開催日：2月5日（水）

うしおっ子タイムを活用して「なわとび大会（縄リンピック）」を全校で行いました。個人種目として、『蟠竜湖連続2重跳び』を含む多種目を設定し、難易度や時間に応じて得点をもらえるように仕組みでいました。また、団体種目として上下学年でそれぞれがチームになり『松江城 忍者8の字跳び』にチャレンジしました。種目が終わるごとに合計得



点を提示したり、青組対赤組というチーム戦をより意識したりしたことで、目標をもって終始楽しく活動できました。また、組を問わず、頑張った児童へ惜しみない拍手をする姿も見られ、心温まる時間となりました。



◆第22回◆ 出雲市立平田小学校 全校児童 364名
開催日：1月31日（金）

1～3学年は午前中、4～6学年は午後に分かれて「はすだっこなわとび集会」を行いました。短縄パートでは、各自が技や目標時間を設定して挑戦しました。長縄パートでは『松江城 忍者8の字跳び』を各学級2グループに分



かれてチャレンジしました。学年が上がるに従って、テンポよく連なって縄に入り回数が増えていました。その速さや巧みさに、下級生からは「すごい」と驚きや憧れの声が聞かれました。高学年の縄跳び名人と対決する時間もあり、前二重あや跳び等の高度な技にも触れることができました。今後も休み時間等に運動に取り組む、技や回数を増やしていくことを期待しています。



◆第21回◆ 出雲市立多伎小学校 1・2年生 37名
開催日：1月23日（木）

準備運動として『ドジョウすくい柔軟運動』を行った後、翌日の「なわとび集会」に向けて『持久跳び（前跳び）の1分間』『松江城！忍者8の字とび』に挑戦しました。1・2年生混合のチームでチャレンジしたことが刺激となったようで、普段よりも意欲を高く持って取り組むことができたようでした。また、『ぐるっと逆さま！砂時計逆立ち』や『島根県民思いやり対面パス』では、教員に褒められたりアドバイスしてもらったりしたことで、満足感を得ることができたようで、授業後にも自分から練習する児童も見られました。今回のように時間や環境を整えながら継続的に児童の体力向上を目指して取り組んでいってほしいと思います。



◆第20回◆ 出雲市立西野小学校 5年生 106名
開催日：1月15日（水）

5種目歩走でのウォーミングアップの後、ストレッチ運動を兼ねて『ドジョウすくい柔軟運動』を行いました。特にブリッジでは、しっかりと体を支えて体幹で曲線を描く子どもたちが多く見られました。続いての本運動では、縄跳びを中心に取り組みました。昨年度から学年全体で『蟠竜湖連続2重跳び』を含むリズム縄跳びを行っているということで、今回のカーニバルでも個々に設定した跳び方や回数の達成に向けてプログラムを組んで取り組んでいました。また、『松江城 忍者8の字跳び』では、グループで作戦を考えながら、より多く跳びたいという気持ちを一つにして、協力して取り組む姿が見られました。どのプログラムも、目標を明確にしつつ友だちと共に高め合う、楽しい体育学習の姿がありました。



◆第19回◆ 出雲市立荒木幼稚園 年少・年中・年長児 36名
開催日：1月15日（水）

今年度は3歳児も参加しました。始めに、スキップやケンケンなど、様々な動きで体を動かしました。その際、高さや速さ等に変化をつけることで、楽し



みながら取り組んでいました。また、『ドジョウすくい柔軟運動』では、遊び感覚で楽しく運動し、1つ1つの種目で回数を重ねる度に伸びを見取ることができました。隙間時間に簡単な運動を遊び感覚で行ったり、ペアでの運動やドッジボール等で遊ぶ様子を保護者に伝えて家庭への啓発をさらに行ったりと、今後も運動あそびの取組が広がるように継続していってほしいと思います。

◆第18回◆ 出雲市立西野幼稚園 年中・年中児 31名
開催日：12月20日（金）

昨年度に続いて2回目のカーニバル実施でした。『ドジョウすくい柔軟運動』では得点が決められていることを伝えてから取り組んだことで、年長児はより意欲が高まった様子で、「できた！」という喜びを感じている様子でした。日常的に取り組んでいる縄跳びで、1人跳びや長縄にチャレンジしました。特に長縄では、“くまさん、くまさん”の歌に合わせて跳び方や向きを変えるなど、楽しみながらもバリエーション豊かに跳ぶことができていました。ボール遊びでは、発達や能力に応じて、高さやキャッチの仕方を変えながら色々なバージョンの投げ上げキャッチをしました。今後も日々の保育の中で、友達と関わりながら体を動かして「体も心も元気アップ！」して行ってほしいと思います。



◆第17回◆ 出雲市立荘原幼稚園 年長・年中児 26名
開催日：12月17日（火）

普段から取り組んでいる3つの活動を中心に運動遊びに取り組みました。始めに『ドジョウすくい3種目柔軟運動』にみんなで一緒に取り組みました。思い切り手や背筋を伸ばして、自分のできそうなところまで曲げようと頑張っていました。また、縄跳びでは、前跳びや後ろ跳びなど、色々な跳び方を楽しみました。年長児と年中児と一緒に運動遊びをすることで、互いに頑張っている内容を見合いながら過ごし、刺激を受け合ったりしている様子が見られました。これからも日々の保育で行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わってほしいと思います。



◆第16回◆ 松江市立古江幼稚園 年長・年中・年少児 5名
開催日：12月12日（木）

今年度の運動会で、親子や兄弟と一緒に『石見銀山間歩フープくぐり』を実施しました。保護者が転がしたフープをくぐったり、低年齢の子は固定したフープをくぐったりと、発達段階に応じた工夫をして取り組みました。日々の保育でも、ボール遊びやなわとび遊びなどをして、楽しんだり友だちと競ったりしながら過ごしています。今回は親子参観日に合わせてカーニバルを開き、親子で触れ合いながら運動をしました。保護者と一緒に行くことで、チームで競って遊ぶことやよいモデル（保護者）を手本にして楽しむことができました。今後も、幼児期に色々な運動経験ができるよう、運動の場を設定してほしいと思います。



◆第15回◆ 安来市立母里小学校

1・2年生 24名 3・4年生 18名 5・6年生 22名

開催日：12月11日（水）

低・中・高学年のそれぞれで1時間ずつ実施しました。全ての学年で『ドジョウすくい3種目柔軟運動』『隠岐の牛突きかべ突きパス』『奥いずもおろちみんなでジャンプ』の3種目に取り組み、どの学年でもそれぞれのチームで記録更新を目指して協力して活動する姿が見られました。また、異学年でのグループ編成にしたことで、上級生が下級生に優しく声を掛けたり運動動作での良いモデルになったりと、行動面での効果もあり、今後も継続することで関わりによる成長もさらに期待されると感じました。



◆第14回◆ 益田市立吉田小学校 1年生 79名

開催日：12月10日（火）

今年度、初めての開催でした。参加にあたり、当日に向けて柔軟運動や長縄を行ってきました。ブリッジをしている子どもたちを見ると、手と足がくっつきそうなほど上半身を反り返らせている子も見られ、取組の成果が感じられました。また、「高津川清流ながわジャンプ」では、吉田小学校1年生のオリジナルの歌を考えて、みんなで歌い、お互いの跳ぶタイミングを合わせるように練習してきており、当日も歌に合わせてみんなで跳び、たくさんのチームが最高記録を出すことができました。



る子も見られ、取組の成果が感じられました。また、「高津川清流ながわジャンプ」では、吉田小学校1年生のオリジナルの歌を考えて、みんなで歌い、お互いの跳ぶタイミングを合わせるように練習してきており、当日も歌に合わせてみんなで跳び、たくさんのチームが最高記録を出すことができました。

◆第13回◆ 松江市立恵曇小学校 全校 57名

開催日：12月4日（水）

太陽委員会（児童会）で考えた5種目の運動をワークショップ形式で行い、縦割り班で取り組みながら、何度でも挑戦できる形で行いました。一人一人にワークシートを配布し、挑戦した種目を記録したりスタンプを押してもらったりできるように工夫されていたため、記録更新を目指して時間いっぱい活動に取り組む姿があちこちで見られました。寒い中でしたが、汗をかきながら、笑顔で取り組んでいました。また、終わりの会では、下級生から太陽委員会への感謝の言葉が発表され、お互いの活動を認め合う素敵な雰囲気になりました。活動を通じて友達と協力することの楽しさやできたことへの達成感も味わうことができました。



◆第12回◆ 出雲市立神西小学校 1年生 34名
開催日：12月4日（水）

カーニバルまで計画的にプログラムに取り組み、当日を1つの目標にして、意欲をもって練習に励んできました。『江の川マラソン』では、マラソンカードを活用したことで、意欲を高く保ちながら継続して取り組むことができました。また、『ドジョウすくい3種目柔軟運動』では、点数化することで柔軟性の高まりを視覚的に捉えることができました。『出雲ドームブリッジ』では、みんなで1つのものをつくることを楽しみながら行うことができました。『松江城！忍者8の字跳び』では、みんなでかけ声をかけながらタイミングよく縄に入り、本番では記録を更新することができました。元気いっぱい、やる気いっぱいに体を動かした34人でした。



◆第11回◆ 飯南町立頓原小学校 全校 53名
開催日：11月13日（水）

縦割り班ごとに各コーナーをまわり、6つのプログラムに挑戦していきました。クリアできたら記録に応じた枚数のシールを担当教員から受け取り、ワークシートにはるることができるという方法でした。『松江城忍者8の字跳び』や『石見



銀山間歩フープくぐり』、『奥出雲おろちみみんなでジャンプ』では、上級生が声をかけながら班で協力して活動していました。また、『出雲ドームブリッジ』では、高記録のたびに歓声があがるなど、班の仲間の頑張りを共に喜びながら楽しむ姿が見られました。『隠岐の牛突きかべ突きパス』や『水産浜田とびうおキャッチ』でも、タイミングをとりながら時間いっぱい記録に挑戦していました。時間がある限り何度もチャレンジし、全種目制覇や記録更新を目指しつつも楽しく取り組みました。

◆第10回◆ 松江市立意東幼保園 年中・年少児 25名
開催日：11月6日（水）

毎朝、体操の時間（なかよしタイム）に全園児で取り組んでいる意東幼保園。“どんぐり体操”や“まねっこうっほっほ”など動物のまねっこをしたり、カーニバルに向けて柔軟体操やサーキットプログラムを体験したりしてきたことで、当日を楽しみにしていたようでした。カーニバルでは、子どもたちがイメージしやすい“忍者”を題材にして活動したことで、楽しみながら修行に励む姿が見られました。また『対面パス』や『大縄跳び』は、一人一人の運動発達に合わせて無理のないように誘ったり、励ましたりしたことで、自分なりにめあてを持って、繰り返し挑戦する姿が見られました。今後も、楽しみながら継続して取り組んでいってほしいと思います。



◆第9回◆ 安来市立赤屋小学校 全校 16名
開催日：10月31日（木）

年間を通して、業間活動に体カづくりを行ったり、体育授業の導入に『しまねっ子！元気アップ・プログラム』の運動を取り入れたりしています。今回は全校児童で縦割り班活動として3つの種目に挑戦しました。『ドジョウすくい3種目柔軟運動』では、他の学年の様子を見ながら意欲を高め、高得点を目指して取



り組みました。『長縄ジャンプ』や『とびうおキャッチ』では、6年生が中心となってアドバイスしたり、励まし合ったりしながら協力して活動していました。異学年と共に活動することは、コツを見つけて伝えたり憧れを感じたりすることができ、お互いのよい刺激になっているようでした。そして、意欲や楽しさをさらに高めながら運動に親しむことにつながりました。



◆第8回◆ 松江市立城東保育所 年長児 20名
開催日：10月29日（火）

今年度初めての参加でした。転がしドッジボールで遊ぶ経験をしている子どもたちに、投げる運動を味わわせたいという思いから『思いやりの対面パス』をプログラムに取り入れて実施しました。繰り返し行う中でキャッチが上達してきたため、少しずつ距離を広げてチャレンジ



しました。相手を見て運動の仕方を調節する姿に、成長を感じることができました。最後に、日ごろの遊びの中で行っている『ボール飛ばし』をしました。チーム対抗戦や個人記録への挑戦など、方法を変えて工夫することにより、終始楽しみながら投げる運動に親しむことができていた子どもたちでした。



◆第7回◆ 吉賀町立六日市小学校 全校 96名
開催日：10月10日（木）

六日市小学校では、毎年2回の“みろくマラソン”を実施しています。今年も、二つの保育所と小学校全児童が一堂に会して実施しました。たくさんの保護者の方々に見守られながら、保育園児18名は校庭3週を一生懸命に走り切りました。



また、低学年以上はロードレースとして、沿道から地域の方の温かい声援をうけて走りました。記録更新を目指して一人一人が走り抜け、満足感をもって終えている姿がたくさん見られました。昨年度から、高学年は距離を選択できるように方法を改善し、自己の体調や能力に応じた課題決定できるため、個々が無理なく目標に向かって取り組むことで、意欲の向上をねらう工夫がなされていました。



◆第6回◆ 邑南町立市木小学校 全校9名
開催日：9月20日（金）

運動会で披露した『ネバネバ行進曲』を踊って、笑顔いっぱいカーニバルをスタート！『思いやりの対面パス』では、どうやったら相手がとりやすいかを上級生が考えて提案し、みんなで気をつけて練習していくうちに連続でパス



できるようなりました。『とびうおキャッチ』では、それぞれがボールの種類を選んで投げ上げキャッチにチャレンジしました。また、『松江城忍者8の字とび』では、2学期に入ってから何度も練習してきた成果を発揮して、1年生もタイミングよく縄に入って跳ぶことができるようになりました。



◆第5回◆ 出雲市立遙堪幼稚園 年長・年中・年少児 15名
開催日：9月13日（金）



幼児期や低学年の時期はイメージを膨らませて『なりきる』ことを楽しみながら、色々な動きを自然に行い、体を動かすことができているという状況を仕組むことが大切です。まずは『昆虫太極拳』で速遅のある動きを友だちと一緒に楽しみました。その後は、『温泉に行こう!』というストーリーの中で『ドジョウすくい3種目柔軟運動』につながる柔軟運動をしました。先生からの声かけによって遠くに手を伸ばそうと、柔軟性がレベルアップしていました。最後に、ボールの代わりにタオルを結んで活用し、腕振りや投げ上げキャッチを行いました。楽しい雰囲気の中で、チャレンジを促す工夫が凝らされた時間でした。



◆第4回◆ 出雲市立中部幼稚園 年長児 9名
開催日：9月11日（水）

一人一人が楽しく運動遊びができるよう、1学期から色々な運動用具を使って日常的に取り組んでいる中部幼稚園。それらの運動の中から、始めに『ドジョウすくい3種類柔軟運動』をして、友だちのブリッジのトンネルをくぐって楽しみました。単純な動きですが、とても盛り上がりました。また、『思いやりの対面パス』は繰り返すうちに投げる強さや位置を考える様子が見られました。相手のことを思いやろうとする年長の時期に、このような運動遊びは効果的なのではないかと改めて感じました。何かができるというのではなく、幼児自身が自ら自然にやってみたくなるような運動遊びを今後も継続して取り組んでほしいと思います。



◆第3回◆ 出雲市立中央幼稚園 年長児 22名

開催日：6月28日（金）

昨年度より年長児さん中心に参加を継続しています。『ドジョウすくい！3種目柔軟運動』では、閉脚や開脚でどのレベルまで頑張るかという目標を決めて、10秒間ずつ取り組みました。

ブリッジを初めて行う子には、手のつき方を丁寧に確認して運動開始しました。『とびうおキャッチ』では、投げ上げる高さを少しずつ高くしたり、キャッチの仕方を工夫したりして楽しみました。『対面パス』では、どこに投げたら相手がキャッチしやすいかを考えている姿も見られ、考えながら運動に取り組む姿も見られました。終始、子どもたちは体を動かすことを楽しんでいました。今回の時間で様々な動きを経験することができ、日々の保育の中に取り入れていこうと、先生方の意欲も高まっておられるようでした。



◆第2回◆ 安来市立安来幼稚園 年長・年中・年少児 19名

開催日：6月6日（木）

今年度初参加の19名。いつもみんなで踊っている『ダンス』で体を動かした後に『ドジョウすくい3種類柔軟体操』を行いました。年長の子どもたちがステージに上がって見本となり、息を吐きながら長座体前屈や開脚前屈をしました。その後、ブリッジをしました。おなかをしっかりと反らせるだけでなく、できるだけ長く静止して頑張っている友達には、みんなで拍手をしました。また、『社日山シャトルラン』では、くねくね道を素早く走ったりケンケン跳びしたりしていました。また、『飯梨川くぐりぬけジャンプ&伯太川ジャンプ』でも、できそうな運動を選んで活動に取り組んでいました。カーニバル後は、いきいきした笑顔があふれていた19名でした。これからも継続して遊びに取り入れてほしいと思います。



◆第1回◆ 第127回大田市小学校連合運動会 5年生246名・6年生256名 合計502名

開催日：5月25日（土）

5年ぶりに開催となった大田市連合運動会のプログラムとして、『しまねっ子！元気アップ・ダンス』と『松江城忍者8の字とび』にチャレンジしました。開会式後に行われたダンスでは、手足を大きく動かしたり、弾みながら回ったりしながら、笑顔いっぱい元気いっぱいに体を動かしました。各学校で練習をしてきた成果が見られ、リズムに合わせて楽しく踊ることができました。また、8の字とびでは、市内15校の5年生を17チーム、6年生を18チームに編成し、声をかけ合って3分間の合計回数を競いました。



休憩&作戦タイムを取り入れたことで他校の仲間との交流を深め、2回目は記録向上できたチームが多く見られました。6年生の部の最高記録は、428回でした。晴天の下、仲間と一緒に楽しく体を動かし、運動の楽しさを味わうことができた素敵な時間となりました。各校に帰ってからも、運動に親しみながら体力向上を目指してほしいと思います。